

福島小だより

学校通信

めざす児童像：考える子 やさしい子 元気な子
第2号 令和6年5月1日



甘楽町立福島小学校
校長 新井 綱人

満開の桜に祝福されながらスタートした新学期も1ヶ月が経過しました。福島小の子どもたちにとっても、新しい先生や学年・学級での生活にだいぶ慣れ、毎日、元気に学校生活を送れているように感じます。

現在は感染症の流行も落ち着いており、ゴールデンウィークにお出かけするご家庭も多いかと思いますが、基本的な生活習慣や健康管理にご留意いただきますよう、よろしくお願いいたします。



○交通安全教室を実施しました

警察や保護者の皆様のご協力をいただきながら、交通安全教室を実施しました。

1・2年生は4～5人ずつの班で、保護者ボランティアの皆さんや教職員に見守られながら、駐在所のある天皇塚手押し信号方面までの安全な歩き方を学びました。

3・4年生は、校庭に描いた道路や横断歩道、踏切のコースを使い、急ブレーキの体験なども含め、駐在所長さんや交通指導員の方の指導を受けながら、正しい自転車の乗り方を学びました。

5・6年生は、交通安全に関する動画を各教室で視聴しました。

先日、高崎市内の踏切で小学生が電車にはねられる大きな事故がありました。友だちとの会話に夢中になったり、道端のものに目が行ってしまったりすると、近づいて来る自動車などに気づかないことがあります。交通ルールを守り、自分の命を守れる児童になってほしいと思います。



○地域の方による交通安全見守り活動

朝の子どもたちの登校を見守っていただいている方をご紹介します。

甘楽町福島地区在住の齊藤榮一さん(84歳)は、高校1年生になるお孫さんが福島小学校に入学して以来、9年以上にわたり、雨の日も雪の日も、毎朝、福島小学校東側の横断歩道の場所に立ち、子どもたちに声をかけ、横断歩道を安全に渡れるよう見守りをいただいています。

15区では「じいちゃん・ばあちゃん支援隊」(篠原道夫さん他6名)が組織され、毎週木・金曜日の朝に見守り活動をしていただいています。

この他にも、各地区で多くの地域の皆様にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

今後とも、地域の皆様のお力を借りながら、地域とともにある学校づくりを目指していききたいと思います。

